

8 若年者雇用

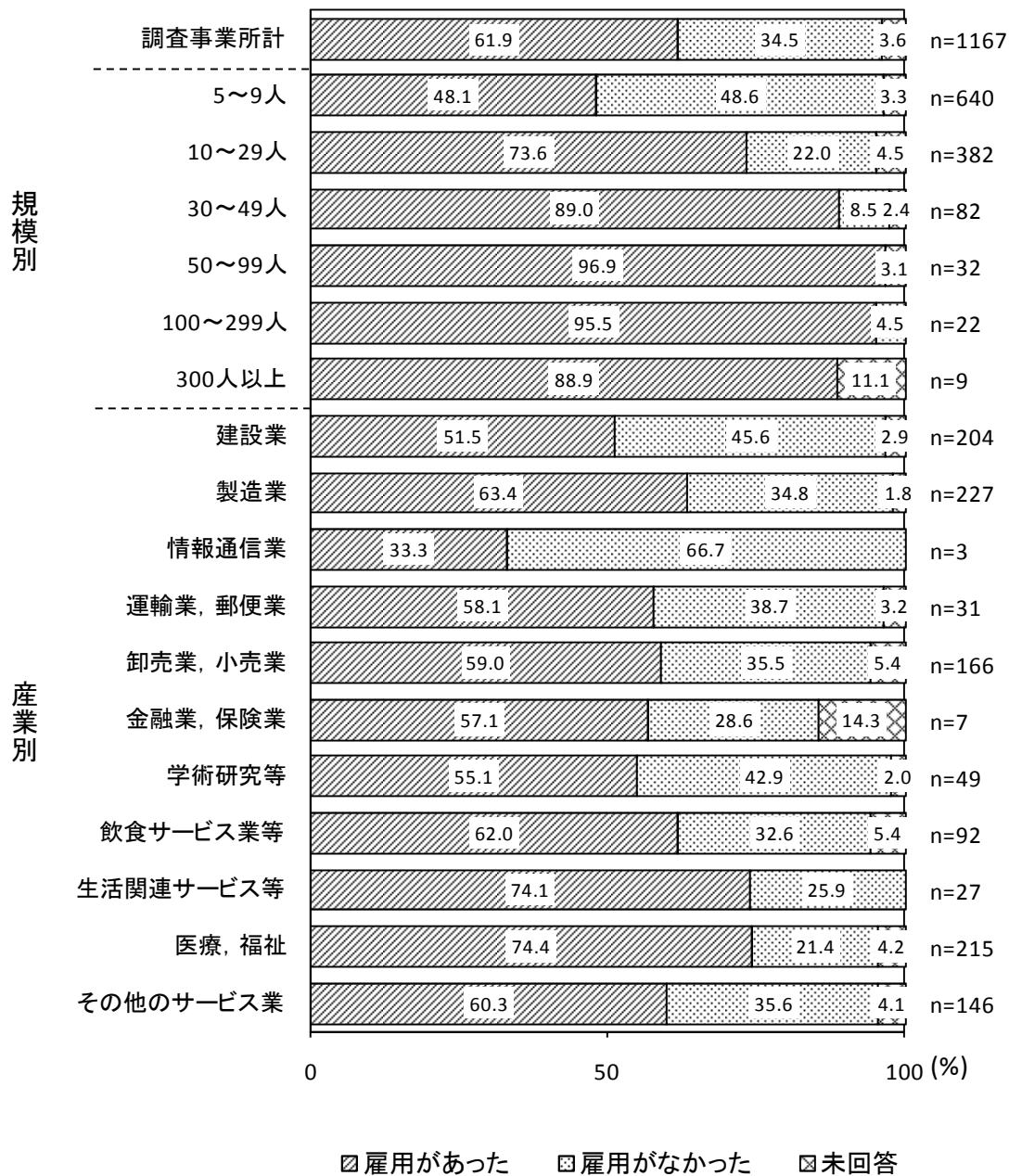
(1) 雇用の有無

過去3年間の若年者(40歳未満の者)の雇用についてみると、調査事業所計で61.9%の事業所が「雇用があった」としている。

規模別にみると、「雇用があった」とする事業所の割合は50～99人規模で96.9%と最も高く、100～299人規模で95.5%、30～49人規模で89.0%の順となっている。

産業別にみると、医療、福祉で74.4%と最も高く、生活関連サービス等で74.1%、製造業で63.4%の順となっている。(図8-1、付属統計表8-1)

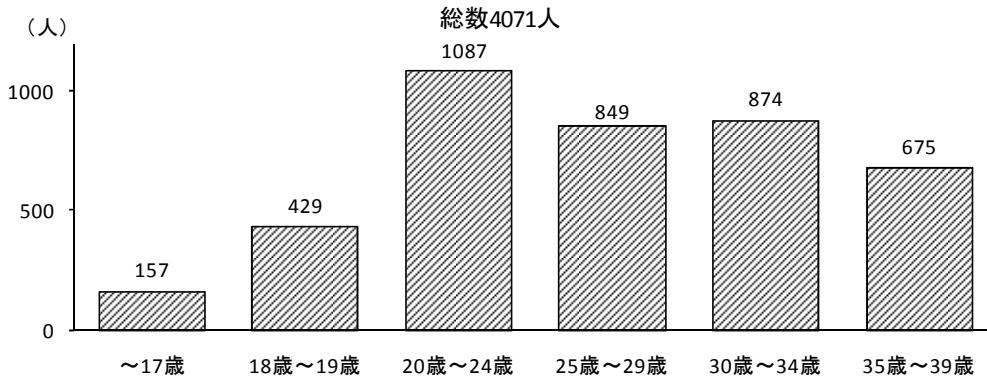
図 8-1 若年者雇用の有無



(2) 雇用人数

雇用された若年者(40歳未満の者)の年齢別の内訳についてみると、4,071人が雇用されているうち、「20歳～24歳」が1,087人(26.7%)と最も多く、「30歳～34歳」が874人(21.5%)、「25歳～29歳」が849人(20.9%)の順となっている。(図 8-2-1、付属統計表 8-2)

図 8-2-1 年齢階層別若年雇用者数



また、1事業所あたりの平均若年雇用者数は 5.6 人となっており、産業別にみると、1事業所あたりの雇用者数が最も多いのは、その他のサービス業と医療、福祉で 8.1 人、次いで運輸業、郵便業で 7.2 人、製造業で 5.6 人の順になっている。(図 8-2-2、付属統計表 8-2)

図 8-2-2 産業別1事業所あたり平均若年雇用者数

